

「北海道食品ロス削減推進計画」策定に向けた考え方(案)に対する委員の主な発言と対応状況
(令和2年度第1回食の安全・安心委員会:令和2年7月21日)

項目	意見	対応
消費者、家庭	生活リズムを整えることが必要 買い物時の心がけ 冷蔵庫の整理収納の見直し 賞味期限や消費期限の正しい理解 外食時の注文方法	基本方針1で消費者個々の意識を醸成し、取組の実践を掲げ、食品ロス削減に向けた取組への理解の促進や普及啓発の推進、情報発信などの取組を進めることとします。
事業者	日持ち向上などの商品開発 多様な販売方法 季節商品などの販売方法 商習慣の見直しは国レベルでの対応が必要	基本方針1で食品関連事業者等の意識の醸成、取組の推進を掲げ、食品ロス削減に向けた取組への理解や人材育成、事業者の改善などの取組を進めることとします。 全国的な取組や制度の見直しなどを、国と一体的に進めることとします。
フードバンク活動	食品ロス削減の手法の1つではないか 仕組み等がよくわからない 持続可能な食品提供の仕組みが重要	基本方針2において未利用食品等の有効活用の促進を掲げ、フードバンクに対する活動や現状などの理解の促進や連携強化等の取組を進めることとします。 食品ロス削減の推進に当たっては、地域性と連携・継続性を視点に進めることとします。
その他	用語の定義を整理した方がよい 食品ロスの可視化が必要	用語解説や注釈により、整理することとします。 事業系、家庭系別食品ロスの発生量などをグラフや図を用いて、現状などを把握できるよう整理することとします。